資料 1-1

第２回分科会における委員からの意見（将来像、方針、目標イメージ）

【住まい分科会】
- 事前の災害対策についてのイメージが強いが、「災害が本当に起きる前提で備えましょう」と発信するためにも、**被災時や復興時を含めたイメージ**としたらどうか。
- 国の住生活基本計画案や「あいちビジョン 2030」では「**近年の激甚化する自然災害**」といった表現がある。より危機感があり、新たな対応をしていく必要があるといったニュアンスを出したほうが良いのではないか。
- **住宅確保要配慮者**に関して、Ⅱでは「誰もが輝き活躍している」としているが「安心」という意味では、Ⅰと思われる。整理してはどうか。
- 「支え合い繋がる」については、支援する担い手が必要になると思われるが、担い手がいない地域が未だ多いことを考慮すると、担い手育成も重要になるのではないか。
- **「地域」の単位**は、人それぞれイメージが異なるため、すり合わせが必要ではないか。

【新技術・まちづくり分科会】
- 「地域で支え合い繋がる」や「暮らしている」という断定的でなく、**「繋がることができる、暮らしていける」**といったイメージの方が良いのではないか。

資料１

■新たな愛知県住生活基本計画の体系イメージ　（将来像・方針・目標・施策）

（理念）将来像　｜　方針　｜　目標

【大きな視点（案）】（第１回　検討会議）・・⇒　【キーワード・イメージ】　・・・・　⇒　【方針・視点】　⇔　【第１回分科会での論点】（赤文字：主なキーワード）

Ⅰ　いかなる危機に直面しても、被害を最小限に抑え、県民の生命・財産を守るとともに、速やかに社会経済活動を再開できる危機に強い住まい・まちづくりを実現するにはどうあるべきか。

◎耐震化など、災害を事前に防ぐ部分と、発生後の生活支援の部分の間をつなぐことが重要
◎地域防災の繋がりは、即座に準備することはできないため、日頃からの繋がりを作るため、地域活動が活性化されるような、皆が外で繋がりたくなるようなまちづくりが重要ではないか。
（第１回　有識者検討会議）

キーワード
- ●地域で支え合い繋がる
- ●安全・安心に暮らす

イメージ：誰もが、地域で支え合い繋がり、安全・安心に暮らしている

→ 住まいの視点 → 方針

Ⅱ　「人生１００年時代」において、お互いが支え合いながら、地域で安心に暮らし、生涯にわたって輝き、活躍できる社会を実現していくための住まい・まちづくりはどうあるべきか。

◎高齢者など身体能力が落ちてくる方の備えというのは、住宅の物理的な耐震性能だけでなく、温熱環境、それも快適なということだけでなく、生命や健康に関わるレベルでどのように対応していくかということがあるのではないか。
（第１回　有識者検討会議）

キーワード
- ●健康・快適で安全な住まい
- ●ゆとりある環境で豊かに暮らす
- ●誰もが輝き活躍できる

イメージ：健康・快適でゆとりある居住環境のもと、誰もが生涯にわたり輝き活躍している

→ ストックの視点 → 方針

Ⅲ　ゆとりある生活空間を形成している強みを維持しつつ、持続可能でスマートな地域づくりを進めるとともに、スーパー・メガリージョンのセンターとなる強みを磨き、その魅力を世界に発信し、選ばれる愛知をつくるにはどうあるべきか。

◎新しい生活様式の関係で、大きな変化は、住宅の中で働くことと学ぶことが戻ってきたことで、そのことは、日々の生活の仕方のみならず、都市だけでなく国内のどこに住むかを含めた大きな動きになっていく可能性を考えた場合に、愛知県は来てもらえる側になれるのかどうなのか。
（第１回　有識者検討会議）

キーワード
- ●高まる魅力
- ●選ばれ・集うまち

イメージ：高まる魅力と共に選ばれ・集う、豊かで住みやすいまちが広がっている

→ 新技術・まちづくりの視点 → 方針

具体的には全国計画を踏まえ検討

住まい分科会
- **危機に強い住まいづくり**
  - **南海トラフ地震**への備え
  - 激甚化する**風水害や土砂災害等**への備え
  - 新型コロナウイルス始め新たな感染症ウイルスリスク等への対応
- **子育て・子育ち**
  - **子供を産み、育てやすい**住まいの実現
  - 若者や子育て世帯、女性が望む**ライフ・ワークスタイルを実現**する居住環境づくり
- **高齢者・セーフティネット**
  - 高齢者が**住み慣れた地域で自立して暮らし続けられる**住生活の実現
  - **住宅確保要配慮者**が安心して暮らせる居住環境の整備
  - **公営住宅の適切な管理と供給**

ストック分科会
- **住宅性能向上・環境**
  - **将来世代に継承できる良質な住宅ストック**の形成・更新
  - 環境に配慮した**持続可能**な住まい・まちづくり
- **マンション**
  - マンションの**適切な維持管理**の推進
- **流通促進**
  - **良質ストックが適切に評価**される既存住宅流通市場の構築
  - リフォーム・**リノベーション**の推進
- **空き家**
  - 空き家の状況に応じた適切な**管理・再生・活用・除却の一体的推進**

新技術・まちづくり分科会
- **地域産業・新技術**
  - 居住者の**利便性や豊かさ**を向上させる住生活産業の発展
  - **柔軟な働き方**や新技術の活用による新しい住まい方の実現
  - **地域材**の活用、**地域の住宅生産者**の育成
- **団地再生**
  - **持続可能**で賑わい・うるおいのある住宅地の形成・再生
- **地域共生・多様な住宅地・新しい住まい方**
  - **多様な住民や世代が支え合い**、いきいきと安心して暮らせる地域共生社会づくり
  - 新型コロナウイルスを踏まえた**新しいライフスタイルや働き方**

【住まい分科会】
- 「子育ち」に関して、「子ども」を主語としたものがない。教育ということでなく、**子どもが自ら学習すること、自立的な発育など成長**という視点で、検討してはどうか。

【新技術・まちづくり分科会】
- 住宅産業において**設計、維持管理のプロセスのデジタル化**をどのように進めていくかについて、検討してはどうか。

【新技術・まちづくり分科会】
- **「持続可能な住宅地の形成・再生」は、「団地再生」より上位の概念である。**中心市街地や都心の居住と郊外居住とのバランスのようなことも、「持続可能な住宅地の形成・再生」に含まれるのではないか。
- 団地再生ではなく、**「居住地再生」**のようなものがあり、その下に都心居住、調整区域居住、低・未利用地活用、中山間地の集落等の団地等がある。整理しないと施策イメージが埋まらないのではないか

【ストック分科会】
- **「脱炭素」や「次世代への継承」、「温暖化対策」**等の記載が必要ではないか。

【新技術・まちづくり分科会】
- 「輝き活躍できる」といった、**可能性を育むような方向**にもっていくような記載が良いのではないか。

【新技術・まちづくり分科会】
- 「高まる魅力」とすると**何もせずに魅力が高まっていくという意味にとらえられる**ため、「魅力を高める」という方向を示すことが必要ではないか。
- 集うについて、コロナ禍では集まることの意味合いが変わってきており、都心だけでなく、**国内のどこに住むか**を含めた内容としてはどうか。
- **コロナ禍に対応した新しい生活様式について、当分の間続ける必要があるかもしれない**ので、その点を意識した方が良いのではないか。

【新技術・まちづくり分科会】
- 全国計画案において、コロナに関連する内容は**「社会環境の変化の視点」**として、方向性が示されている。

【ストック分科会】
- 全国計画が公表された後に「目標」のキーワード（赤字）を、次期計画として整理していくことになるということで良いか。